

令和5年度三重県沿岸種資源評価 マアナゴ

資源水準・動向

低位・減少



生物情報

- ・ 成熟・産卵生態は不明な点が多いが、産卵場は沖ノ鳥島南方で唯一確認されている。
- ・ 1歳で全長15～30cm、2歳で30～45cm、3歳で40～55cm、4歳で48～52cmとなる。伊勢湾では、雄は満2歳に、雌は満3歳になるまでに大部分が湾外へ去る。
- ・ 魚類、甲殻類、軟体類など多様な生物を捕食する。

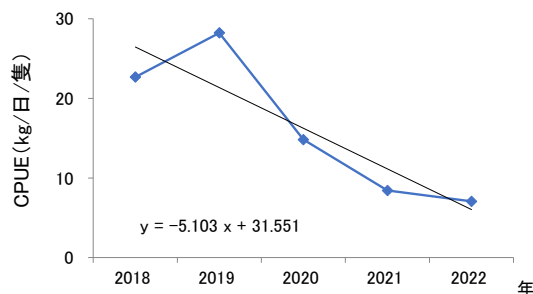
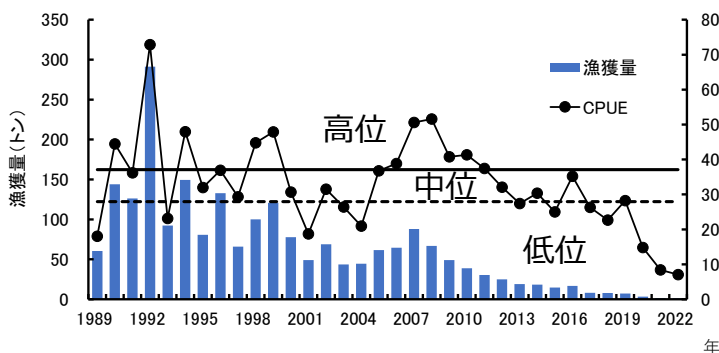
漁業の特徴

- ・ 伊勢湾～湾口にかけて、主に小型底びき網やかご漁業で、漁獲される。
- ・ 漁獲盛期は4月～8月で、漁獲主体は1～2歳。
- ・ 仔魚であるレプトケファルス(いわゆるノレソレ)は船びき網等で混獲され、その一部は漁獲物として水揚げされていたが、近年はイカナゴ漁の解禁見合わせにより混獲がない。



資源状態

- ・ 有滝地区の小型底びき網のCPUEから資源水準は「低位」とした。
- ・ 有滝地区の小型底びき網の直近5年間のCPUEの推移から資源動向は「減少」とした。



資源管理の取組

- ・ 小型底びき網(まめ板)の定期休漁、操業日数の制限
- ・ 全長25cm以下の再放流(10月～11月)
- ・ 船びき網による稚魚(ノレソレ)目的の操業禁止

将来考えられる資源管理の取組

- ・ 小型個体の保護・再放流